

# NEWS 病院ニュース

2012年10月  
第31号  
(年4回発行)

主な内容

- 1 病院医療を評価する「病院機能評価(Ver.6.0)」の認定を取得  
日本の臨床研究の基盤に 平成24年度臨床研究中核病院に選定
- 2 新しい医療の開発～千葉大学病院の「先進医療」～  
地震訓練 震災に備えて地震訓練を実施しました  
患者さんの声
- 3 和漢診療科監修の「医食同源メニュー」登場  
「ミニニュース」院内に響くピアノのしらべ～院内コンサート2012～  
子どもたちは笑顔でいっぱい～読み聞かせ会、人形芝居～  
「がんからあなたの命を守るために」市民公開講座を開催します!  
バスの利用がさらに便利になりました～京成バス増便～
- 4 「フリートーク」薬剤部長 石井 伊都子  
「トピックス」めまい  
「ちばをてくてく」⑦千葉市動物公園



千葉大学医学部附属病院 〒260-8677 千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1  
TEL 043-222-7171 (代表)

<http://www.ho.chiba-u.ac.jp/>

ホームページで「病院ニュース」のバックナンバーがご覧いただけます。

## 病院医療を評価する 「病院機能評価(Ver.6.0)」の認定を取得

安心・安全な医療を提供するため、さらに努力してまいります



千葉大学病院は、2009年以降「病院機能評価」の認定を受けていましたが、このたび4月23日付けで、より審査の厳しいVer.6.0の認定を取得しました。

「病院機能評価」とは、医療を組織的に提供するための基本的な活動が適切に実施されているかどうかを評価する仕組みです。本院では、これまで十分に目の行き届いていなかった点を洗い出し、一つずつ改善してまいりました。

審査結果の報告書には、長所だけでなく、大学病院として果たすべき役割や今後さらに改善すべき点も指摘されています。敷地内の全面禁煙化など、すでに実行したものもありますが、これを機に、本院の基本方針である「患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療を提供すること」を目指し、引き続き努力してまいります。

(副病院長 市川智彦)

## 日本の臨床研究の基盤に

平成24年度臨床研究中核病院に選定されました

### 【臨床研究機関】

(2012年9月現在 全国10ヵ所)

- 早期探索臨床研究機関
- 臨床研究中核病院



- ・国際標準の組織とシステムの導入
- ・海外臨床研究機関との連携
- ・ARO主導型臨床試験の計画・立案・実施
- ・エビデンスの確立と国民への還元

本年5月に千葉大学病院は、「臨床研究中核病院」の一つとして選定を受けました。「臨床研究中核病院」とは、国際水準の質の高い臨床研究や、難病等の医師主導治験を推進するための拠点となる医療機関のことで、全国で5機関が選定されています。

政府の掲げるイノベーション戦略のライフサイエンス分野で、医療は重点課題として取り上げられています。我が国が医療分野において革新的なイノベーションをもたらせば、国民の健康と福祉への貢献、また産業の育成と雇用の創成にもつながります。

資源のない日本において、その重要性は明らかです。しかし、一部の標準薬がすぐに使えないドラッグラグや、医療における輸入超過などの問題がある

のも事実です。

千葉大学病院は、これまで日本での開発と世界での開発が共にできるように、デューク大学など海外の臨床研究機関との国際的な連携を強化してまいりました。今後も臨床研究中核病院として、人々の健康に結びつく新しい治療方法を生み出すための臨床研究を進めてまいります。

(臨床試験部長・診療教授 花岡英紀)

### いのはな コラム

アイスコーヒーで  
リフレッシュ



秋だというのに、まだアイスコーヒーの美味しい日和が続いています。普段よりも深めに焙煎した豆を微細で挽き、冷水に馴染ませて冷蔵庫へ。あとは一晩待つだけ。これだけであの独特のコクのあるアイスコーヒーが出来上がります。私の密かな楽しみです。

このアイスコーヒー、実は日本以外ではあまり一般的ではないようです。関西のカフェで始まり、定番になったとか。今から約120年前のことだそうです。

千葉大学病院が今の亥鼻地区に移転したのも120年前。そう考えると普段飲むアイスコーヒーが由緒ある飲み物に思えてきます。

今朝もアイスコーヒーを飲み干して、この歴史ある千葉大学で頑張ります。

(臨床腫瘍部 栗本遼太)

# 新しい医療の開発 ～千葉大学病院の「先進医療」～

心臓が再生する、網膜が再生する、そんな未来を想像できますか？ 日々進歩する新しい治療を誰もが受けられるようになるには、いくつかの方法があります。

最近「先進医療」という言葉をよく聞かかもしれません。実は、「先進医療」もその方法の一つであり、将来の保険導入のための評価を行うものとして位置づけられています。

「先進医療」として認められるには、科学的な根拠が必要で、継続的に有効性と安全性のデータ(論文など)を厚生労働省に提出していくのです。このため、「先進医療」を受ける患者さんには、具体的な内容を説明し、同意をいただく必要があります。

千葉大学病院でも「先進医療」を行っています。代表的なものに「末梢血単核球移植による血管再生治療」という治療があります。これは、患者さん自身の血液中の幹細胞を使用して血管を再生するという技術です。また「NKT細胞を用いた免疫療法」という治療は、白血球の一つであるNKT細胞を活性化しした癌の治療であり、肺がんや頭頸部がんを対象とした臨床試験が実施されています。

このように千葉大学病院の多くの研究者が、先進医療を受ける患者さんの協力のもと、多くの人のためになる新しい医療の誕生を目指して研究をしています。

(臨床試験部長・診療教授 花岡英紀)



千葉大学病院で実施している「先進医療」

先進医療の名前	担当診療科
経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	消化器内科
神経変性疾患の遺伝子診断	神経内科
末梢血単核球移植による血管再生治療	循環器内科
実物大臓器立体モデルによる手術支援	整形外科
NKT細胞を用いた免疫療法	呼吸器外科
ペムトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法	臨床腫瘍部

詳細は担当診療科にお問い合わせください。

## 地震訓練

### 震災に備えて地震訓練を実施しました



患者さんを安全に搬送する訓練のようす

昨年3月11日に発生した東日本大震災として今後も首都直下地震などの発生が危惧されています。千葉大学病院では地震災害への対応訓練として、千葉市内震度6強を想定した地震訓練を9月5日に行ないました。

実際に地震が発生した場合は、災害対策本部を院内に即時設置し、各フロアや部署毎に結成される自衛消防地区隊と共に、人的被害、設備および建物被害、診療への影響などの情報を集め、災害対策本部長の指揮の下、病院全体が一丸となって災害へ対応しなくてはなりません。

今回はその地震対応を想定し、患者さんを迅速かつ安全に搬送する訓練などを行いました。美災害時におけるさまざまな問題にも的確に対応できるように備えています。

また千葉大学病院は、地域災害拠点病院として千葉県の認可を受けています。そのため被災時の病院に対する減災はもちろんのこと、地域の方々の安全を守り、被害を受けた地域医療の早期復興を促すための準備を常に行なっています。

## 患者さんの声



皆さまからこんな声が届きました。患者さんの声にお答えします。



### ◎ご要望

**Q** 腕にはめるネームバンドの向きにはめました。ネームバンドを使用するのは、医師、看護師、他病院関係者ですので、ヒヤリハットをなくす為にも名前の向きは逆にした方がよいと思います。

**A** ご指摘のあったネームバンド装着の向きについては確認する向きが異なるため、現在のところ、必ずしも統一しておりません。しかし、いただいたご意見も踏まえ、より安全な対策を取るよう検討していきたいと存じます。

このたびは貴重なご意見をありがとうございました。

### ◎お便り

千葉大学病院は少し怖いイメージがありました。先生方、看護師の皆様にとってもよくしていただき、本当に嬉しかったです。泌尿器科の先生、看護師の皆さん、ことに受付の女性は優しかったです。心に残る通院でした。ありがとうございます。







薬膳セット(さばそぼろご飯、蓮根はさみ焼き 春菊のソース、さんまの塩こうじ焼き、ごぼう・にんじん・水菜の和え物 白ゴマ風味、きのこ鶏のスープ)



医食同源メニューに使われている和漢食材は、クコの実、ナツメの実、黄耆(オウギ)、麦門冬(バクモンドウ)など

# 和漢診療科監修の「医食同源メニュー」登場

## 季節の食材と食養生の出会い

### ■ひがし棟11階展望レストラン

昔から、季節のものをとるのが体によいと言われますが、残念なことに、食生活が豊かになるにつれ、食事に季節感がなくなってきたりします。東洋医学には、食事も医療(薬)も起源はおなじ(医食同源=薬食同源)で、健康状態の維持に役立つ、「食養生」という考えがあります。

そこで、「食」で健康を維持する工夫を体験してもらおうと、ひがし棟11階展望レストランで「医食同源メニュー」をはじめました。季節の食材を積極的に使用し、栄養のプロが作る料理で、身の回りにある季節の食材の力を味わっていただきたいと思えます。メニューと合わせて、東洋医学の専門家により、身近な食材の昔から伝わる効能もご紹介したいと思います(効能説明書)。

病気になるための食事ではありませんが、カロリーや塩分は控えめになっています。健康にご留意される方は、ぜひ一度お試しください。

(和漢診療科長 並木隆雄)

## mini news

### 院内に響くピアノのしらべ ～院内コンサート2012～

7月下旬、千葉大学病院で毎年恒例の院内コンサートが開催されました。

今年は、千葉県在住のピアノ奏者 原由美子さんが演奏。クラシックからアニメ映画、夏定番ソングと多彩なジャンルの曲で、年齢を問わず皆さんの耳を楽しませてくれました。



外来待合スペースがコンサートホールに様変わり

### こどもたちは笑顔でいっぱい♪ ～読み聞かせ会、人形芝居～

千葉大学病院公式キャラクターの童話絵本第2弾の発行に合わせ、入院中のこどもたちを対象に小児病棟のプレイルームで読み聞かせ会を行いました。保育士さんによる絵本「ぼくらがみつけた たからもの」の朗読をこどもたちは、熱心に聞いていました。

また、別の日にはプロの人形芝居師 くすのき燕さんによる肩掛け人形芝居が行われました。巧みな話術にこどもたちの笑顔と笑い声が響きました。



演目は日本のむかし話「ねずみのすもう」

### 「がんからあなたの命を守るために」 市民公開講座(参加無料)を開催します!

来年1月27日(日曜、13:00～16:30)、京葉銀行文化プラザ(JR千葉駅近く)にて千葉大学病院主催の市民公開講座を開催します。がんの予防・早期発見・最先端の治療などについて専門家が解説いたします。詳細はホームページ、院内掲示板などで適宜お知らせします。ふるってご参加下さい。

(千葉大学病院 がん情報サイト<http://chiba-ho.umin.jp/>)

### バスの利用がさらに便利になりました ～京成バス増便～

10月より平日の千葉駅と大学病院を結ぶ路線バスが増便されました。

千葉駅から千葉大学病院行の9時台と13時～18時台が各1本増便、千葉大学病院から千葉駅行の8時台と13時から18時台が各1本増便となり、バスのご利用が大変便利になりました。

ご来院には公共交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。病院発の新しい時刻表は外来ホール棟1階に掲示しております。

## 看護師・助産師 募集

Heart, Skill & Responsibility

平成25年度新採用  
中途採用  
同時募集

## 心と技と責任

その重さを知っている人。  
それが、千葉大学医学部附属病院の看護師です。

- 資格: 平成25年3月卒業見込みで、看護師・助産師免許取得見込みの方又はすでに免許を取得されている方
- 待遇: 当院規定により優遇します
- 応募: 履歴書・看護師等の免許証(新卒の方は成績証明書)を郵送ください。なお、選考日・応募先については本院HPを参照してください。  
※中途採用応募の場合は、事前に電話でご連絡ください。
- 応募またはお問い合わせ先  
TEL: 043-222-7171  
総務課人事係(内線6020) 看護部事務室(内線6610)



千葉大学医学部附属病院

詳しくは看護部ホームページから

<http://www.chiba-kangobu.jp/>



フリートーク  
千葉大学医学部附属病院 薬剤部長 石井 伊都子 (いしいいつこ)



病気と薬のストーリーを伝えるのも薬剤師の仕事

千葉大学薬学部卒業後、大学職員として、高コレステロール血症(けっしよこ)、動脈硬化を中心に血管を対象として研究を続け、この9月から千葉大学病院に来たばかりです。学部教育と違い、命の重みと、危険との隣り合わせという計り知れないものに直面し、毎朝自覚を新たにする日々です。

薬剤部のはたらき

薬剤部は、薬の管理に始まり、患者さんに薬を安心してお使いいただくまでの、薬に関するすべてを扱う部署です。近年は薬物治療が複雑になり、処方される薬も日々変わっていきます。患者さんも複数の病気を併発されていることが多く、考えもしなかった薬同士の組み合わせが出てきています。ジェネリックという、新薬から一定時期を過ぎ、別の会社と同じ化学構造式で安価に提供する薬も含め、オーガナイズしていくのが薬剤部の役割です。でも、そのときに安全が保証されていないとダメ。データを正確に読み取って、安全が保証されているかを科学的に分析する力が、いま、薬剤師に求められていると思います。

Profile

石井 伊都子 (いしいいつこ)

千葉県大網生まれ。1988年に千葉大学薬学部卒業後、千葉大学薬学部生化学研究室の教務職員、助手を経て、1999年に米国National Institute of Healthの博士研究員に。2001年千葉大学大学院薬学研究院、2003年病院薬学研究室の准教授に就任。2012年9月より、千葉大学病院薬剤部長。趣味はスポーツ、読書、恐竜。休日にはランニングなどで楽しむ。子ども時代は、恐竜とスポーツが大好き。恐竜図鑑を見ているうちに、自然に理数系や薬学に興味が向いていったという。

最近、患者さんにも薬について詳しい方がいらつしゃいます。でも、どうしても断片的な知識になりがちなんです。病気にストーリーがあり、その方に適した薬があります。そのストーリーを伝えるのも、私たちの役目だと思っています。副作用がかわいから薬を飲みたいくないという声を聞くことがあります。医師は飲むことで病気が改善するという治療を選択しています。不安を感じていらつしゃる方は、口に出していただかないと伝わらないので、疑問を感じたら、どうぞ薬剤師に気軽に声をかけてください。私たち薬剤師は、皆さんに薬を安心して使っていただけるよう、全力でサポートしていきたいと思っています。

薬のつきあい方

を診て、患者さんに即した処方提言をしていくのも、これからの薬剤師には必要となってくるのではないのでしょうか。千葉大学病院にはいま、57名の薬剤師がいますが、そのうち7名が専属の「病棟薬剤師」として、患者さんに服薬指導をしたり、病棟によって、薬の効きぐあいや副作用の状況を診ています。患者さんとコミュニケーションを取って、その上で投与計画を立てられる。それが個別医療の原点だと思っております。医師や看護師が患者さんに寄り添うように、薬剤師もその一員になれたらいいなと考えています。

ちばをてくてく

千葉市動物公園

7

レッサーパンダの双子の赤ちゃんが公開されます

千葉駅から千葉都市モノレールで6駅目、「動物公園駅」を降りると、目の前は動物公園。広々とした森を背景に、小動物から、ゾウ、キリン、シマウマなどの草食動物が、ふだんの生活を見せてくれます。

人気者はたくさんいますが、園のトップスターはなんといっても、直立するレッサーパンダとして一世を風靡した風太くん。今ではすっかり隠居していますが、今でもファミリーの長として大人気です。7月3日には、息子のクウタと奥さんメイメイの間に双子の赤ちゃんが生まれたばかり。赤ちゃんは、10月6日から公開されています。

ところでパンダというと、ジャイアントパンダが有名ですが、かつてはパンダというとレッサーパンダのことでした。後から発見されたジャイアントパンダが有名になったので、区別するために後から「レッサーパンダ」と名づけられたのだとか。

公園内には、レッサーパンダ・ファミリーのほかにも、グレイシーシマウマのシズカやミーアキャットなど、人気者もたくさん。レッサーパンダの赤ちゃんの成長ぶりを見届けに、この秋は動物公園に出かけてみませんか？



レッサーパンダの赤ちゃん。オスとメスの双子の姉弟です

©千葉市動物公園  
千葉市中央区若葉区源町280番地  
043-252-1111  
http://www.city.chiba.jp/zoo/

めまいの原因は「耳」?

トピックス

めまい

めまいで来院した方にその症状を詳しく尋ねると、①周りがグルグル回る(回転性めまい)、②フワフワ頭が揺れる感じ(浮動性めまい)、③立ちくらみなどさまざまな答えが返ってきます。

回転性めまいは平衡感覚の異常によるもので、吐気、嘔吐、ふらつきなども伴います。バットに頭をつけてグルグル回るとめまい、吐気を感じ、ふらつきますが、これは耳の奥(内耳)の平衡感覚を感じる三半規管(さんはんきかん)の調子が狂うためです。

回転性めまいを伴う病気としては、なでしこジャパンの澤選手を悩ませた「良性発作性頭位(しんけい内科・准教授 朝比奈正人)」。めまいに悩まされたら、ぜひ一度ご相談ください。

めまい(りょうせいほつせいのめまい)があります。三半規管の不調により、バット遊びと同じような症状が頭を動かすだけで起るのです。内耳の病気が耳鳴りや難聴だけでなく、めまいの主な原因でもあるのです。

まれに三半規管からの情報を処理する脳の異常でめまいが起ることもあります。多くの場合は神経症状(片側の手足の脱力、うまくしゃべれない、片側の視野が見えない、意識障害など)を伴います。めまいに加えて、突然の神経症状がみられた時は脳卒中の可能性がります。すぐに救急受診をしてください。

あとがき

今回紹介されていた病院機能評価というものを皆様にご存じでしたでしょうか。病院という組織は多くの役割を担う人達の集まりであり、患者さんにとって良い病院であるためには、優れた医療技術だけでは十分ではありません。組織としての病院がうまく運営され、最善の医療が提供されているかどうかを第三者機関に

評価してもらうことは大変有用です。

千葉大学病院では、今後も、患者さんに満足され、また医療人も満足できるような病院を目指して努力を続けていきたいと思ひます。

(脳神経外科・准教授 岩立康男)